

指定管理者評価シート

事業名	公園管理費	所管課(電話番号)	中央区土木部維持管理課(614-5800)
-----	-------	-----------	-----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	旭山記念公園	所在地	札幌市中央区界川4丁目
開設時期	昭和45年9月26日	延床面積	202,760㎡
目的	都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資すること。		
事業概要	旭山記念公園の維持管理及び運営(園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務)		
主要施設	森の家、レストハウス、遊具広場、噴水、吊り橋、展望広場、駐車場、展望デッキ		
2 指定管理者			
名称	旭山記念公園みどりコンソーシアム((公財)札幌市公園緑化協会、(株)岩本石庭、(株)北海道造園コンサルタント)		
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日		
募集方法	公募		
指定単位	施設数:1公園 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	公園維持管理業務		
3 評価単位	施設数:1公園 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和6年度管理業務等の検証

項 目	実施状況	指定管理者 の自己評価	所管局の評価			
1 業務の要求水準達成度						
(1)統括管理 業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定		A	B	C	D
	旭山記念公園の特徴を最大限に活かし、魅力ある公園として多くの市民に利用していただくため、次の基本方針を策定した。 ①平等・公平な利用の機会を確保し、公共の福祉増進の場としての利用効果を高める。 ②関係法令・条例等を遵守し、利用者や市民の声の反映とその発信に務め、開かれた管理運営による安全で安心、快適な利用環境を提供する。 ③資源・施設の長寿命化を念頭に置き、効率的な管理運営による経費削減を図り、安定した質の高いサービスを提供する。 ④コミュニティ活動の拠点の一つと位置付け、市民や関係諸機関との連携を強化し、資源の積極的な活用を図り、集いの場としての魅力を高める。 ⑤都市における多様な環境圧の下、みどりの保全と環境負荷の低減を目指す。	札幌市街地の眺望観覧および当該公園の特徴である豊かな自然環境と野鳥等の動植物の観察など、多くの来園者が訪れ、その人数は増加傾向で、旭山記念公園市民活動協議会（以下、市民協議会）、公園ボランティア、近隣小学校、町内会と連携・協働し、ニーズに沿った多様な環境教育プログラムを実施し、自己実現・生涯学習・交流の場を提供するとともに、安心・安全に施設・緑地管理に努め、多くの方に活用していただくことが出来た。	旭山記念公園の自然資源を活用した事業が、市民活動団体と連携して実施されており、公園の利用促進が図られていた。また、外部への情報発信にも積極的に取り組み、当該公園の魅力を広く発信していた。			

▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 年齢や障がい、性別、主義・主張、思想・信条、民族や言語、社会的地位や身分の違い、その他不当な理由によって公園の平等利用が妨げられることのないよう、スタッフへの教育指導の徹底を図るほか、違法・不正行為の排除等に努める管理運営を行った。上記方針のもと、平等利用の機会確保のため、下記の取り組みを実施した。 ▼イベントの告知は、公式ホームページのほか、公園内掲示板への掲示、生活情報誌「ふりっぱー」への情報提供など、複数の手段で行った。 ▼過去の実績から、定員を超える申し込みが予想されるイベントについては、抽選により参加者を決定した。 ▼自転車乗り入れ禁止や犬のノーリード禁止等の注意看板を園内各所に設置し、発見した際は口頭で注意した。	広く周知されるようにイベントは幅広い手段で告知を行い、情報の不平等が起こらないように心がけた。 犬のノーリード禁止看板は、都市環境林での咬傷事件が発生したため、早朝巡視、禁止看板の更新等を行い、不正利用の排除に努めた。	市民がイベントの情報を取得する、又はイベントに参加する機会の平等が妨げられないよう対応していた。 公園内禁止行為を防ぐため、看板設置、注意喚起を行っていた。
▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 令和6年から北海道環境マネジメントシステムスタンダード(HES)[ステップ1]を返上し、当協会独自のEMSを運用することにより、環境負荷の低減に向けた各種取組を実施した。 ▼電気使用量の削減 ▼ノー残業デーの超過勤務時間の削減 ▼特定外来生物の侵入軽減	森の家は薪ストーブを活用し、極力灯油・電気の暖房の使用を控え、燃料の節約に努めたほか、不要な照明、換気扇のOFFなどをこまめに行い電気使用量の削減に努めた。	自然エネルギーを活用し灯油料金の削減に努めたほか、電気使用を最低限にするなど、環境にも配慮した対策を行った。
▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成) 当コンソーシアム構成団体及び関係委託業者との分業・協働体制をとり、相互の連絡を密にして情報共有を行い、当公園の適切な管理運営を実施した。 ▼コンソーシアム構成メンバーで担当業務と指揮系統を明確にして管理運営業務に従事した。 ▼令和5年度に引き続き、季節雇用のスタッフを雇用した。	前年から引き続き、同じ統括責任者を配置し、維持管理作業員、各コンソーシアム担当者とともに連携を取り、円滑な管理運営を行うことが出来た。昨年度に引き続き週3日程度の季節雇用スタッフを配置することで、森の家来館者・電話対応のほか、ヒグマ出没など緊急時の迅速な対応に備えることが出来た。	前年度から引き続き同じ統括責任者のもと、現場スタッフおよび各コンソーシアム担当者との情報がよく共有され、円滑に管理運営が実施されていた。また、季節雇用スタッフを配置することで来館者対応など迅速に対応していた。
▽ 管理水準の維持向上に向けた取組 ▼年度当初にレストハウス委託団体を含めたスタッフ研修を行い、EMSの取り組み、火災等の緊急事態の対応、個人情報の取扱い等について教育訓練を行った。 ▼スタッフミーティングでは当日の作業計画とともに、団体利用の予定の共有や、作業前にはKY活動を適宜実施した。	年度当初にスタッフ研修を確実に実施した。また作業時は危険予知活動の実施や、スタッフ間で公園団体利用の周知による安全管理に努めた。	スタッフ研修や日常的な危険予知活動を積極的に行うとともに、作業内容を調整することで、来園者とスタッフの安全確保と効率的な管理運営につながった。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

- ▼森の家機械警備
- ▼レストハウス管理運営
- ▼門扉開閉
- ▼遊具等保守点検
- ▼駐車場管理
- ▼消防用設備点検
- ▼受水槽清掃
- ▼レストハウス自動扉保守点検
- ▼噴水保守点検
- ▼自家用電気工作物保安管理
- ▼一般事業系廃棄物処理
- ▼トイレ維持管理業務

設備の保守点検や機械警備等の専門性がある業務および法定点検は、専門業者に委託し、適正な維持管理に努めた。

適切に実施されていた。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
3月26日(水)	旭山記念公園の事業報告及び施設・緑地の管理等について意見交換を行った。
<協議会メンバー> 中央区土木部維持管理課長及び公園緑化係職員、岩本石庭企画部長・技術担当・担当職員、北海道造園コンサルタント常務取締役及び工事部長、札幌市公園緑化協会事業課担当課長及び職員	

管理業務と自主事業の実施状況、利用者の要望・苦情、市民協働の報告等について、情報共有を図ることができた。苦情等の対応について、また次期指定管理の公募についても共有された。

コンソーシアムと中央区土木部で情報を共有し、今後の課題等について必要な協議を行えた。今後も情報を共有し、適切に対処したい。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

- ▼資金管理については、指定管理業務や自主事業等、公園ごとに区分している。
- ▼当協会の規定に基づき、現金や金券類、預金通帳等の施錠管理や帳簿類の内部監査を年2回実施しているほか、公認会計士事務所による外部監査を導入している。
- ▼現金等の取扱いに関しては、現金取扱規定を整備しており、管理体制の強化及び不祥事防止の取組みを行っている。

不正行為や事故発生未然防止のため、複数名による現金等の確認を徹底した。

適切に管理されていた。複数名で管理するなど、引き続き不正防止に努めること。

不正経理等はなく問題はない。

▽ 要望・苦情対応

アンケート用紙による回答以外の速やかに報告すべき苦情は「苦情等対応報告書」に記載し、札幌市へ報告および緑化協会が管理する他公園でも情報を共有し、随時改善を検討した。札幌市へ直接申し立てられた案件についても、札幌市と協議して随時対応した。

- 苦情・要望件数 6件
- ・生き物の保護活動を多くの人に知ってもらうように対策してほしい
 - ・段上テラスの照明が切れている、修理して欲しい
 - ・自転車に乗っていたところ、作業員に強く注意され

苦情の内容により、速やかに対処を行うとともに、コンソーシアムや委託団体とのミーティングによる状況の把握と改善指示等を行うなど、適宜改善に努めた。

園内スタッフの対応等が苦情に繋がらないよう注意してほしい。施設の不具合に関する苦情要望については迅速に対応するよう努めてほしい。冬期の利用者が増加傾向にあることから、冬期間の

	た。対応が不適切だ ・メニューにライスがあれば良い ・除雪により堆雪した雪山が通行の邪魔になっている、歩行者へ配慮してほしい ・もう少し雪の中を歩けると嬉しかった(スノーシュー自然観察会参加者) ▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施) ▼アンケートを森の家およびレストハウスに設置、またイベント開催時に公園利用者から回答をいただき、公園満足度95.6%、スタッフの接遇満足度96.7%となり、とともに目標を達成した。 ▼月毎・四半期の実績報告書を適正に札幌市へ提出した。 ▼EMSの環境目標について記録し、評価を実施した。	札幌市への月・期ごとの報告書類の作成・提出を適切に実施した。	公園利用に関する要望も増えていると思われるので対応可能なものは要望に沿えるよう対応してほしい。 市民参加イベント等の意見については次回開催時の参考とし、より参加者の満足度が高くなるよう対応してほしい。 苦情・要望に係る多面的な情報収集は今後も継続し、公園運営に役立てること。 事業報告等適切に実施されていた。 アンケート結果を参考に利用者満足度が低下しないよう努めてほしい。
--	--	---------------------------------------	--

(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)		A B C D
	▼ スタッフの雇用に関して、労働基準法、最低賃金法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険法・厚生年金保険法、雇用保険法、労働契約法、男女雇用機会均等法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法、育児休業・介護休業等に関する法律、労働保険の保険料の徴収等に関する法律、その他関連する法令等に基づき、主として以下のような届出・対応等を行った。 ・全てのスタッフに対し、北海道最低賃金1,010円(令和6年10月1日発効)以上の時給を支給した。 ・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜残業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ・就業規則・要綱の改正を行い、札幌中央労働基準監督署に適切に届け出た。 ・全スタッフの就業時間や休日等について、労働基準法を遵守した。 ・スタッフに時間外労働又は休日労働をさせるにあたり、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、札幌中央労働基準監督署に届け出た。 ・全てのスタッフを労災保険適用とし、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。 ・労働保険料等算定基礎賃金等の報告を北海道労働局へ提出し、労働保険料を納付した。 ・スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて健康保険・年金保険資格を取得するよう、適切に届け出を行った。 ・年1回の定期健康診断及びストレスチェックを実施した。 ・短時間雇用管理者を選任し、北海道労働局へ届け出た。 ・有期雇用契約者のうち、無期転換申込権が発生した者に対して周知し、希望の申し込みを随時受け付けた。 ・次世代法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を公開・周知した。 ・女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」において、女性の活躍推進に関する状況等が優良な団体として「認定段階3」を受けたことを周知した。 ・安全衛生委員会を設置し、毎月1回、各公園の担当課長が出席して委員会を開催し、職場の安全確保及び健康障害の防止に係る議題について検討し、その結果を各公園・施設のマネージャーを通してスタッフに周知して、健全な職場環境の実現に努めた。 ・維持管理作業従事者を対象に、作業における安全確保や機械の取扱いに関する講習を実施した。 ・ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、育児休業等の取得奨励、職場内コミュニケーションの活性化、有給休暇取得の奨励、ノー残業デーの設定などの取組みを行った。 ・公的資格の取得支援、接遇や安全・技術等に関する内部研修の実施、優秀なスタッフや高年齢者の継続雇用など、雇用環境の整備により、市民サービスの向上等に結びつく取組みを行った。 ・第三者への委託業務について、受託者に当該業務従事者の労働環境に関わる情報提供を求めた。 ▼ 正規職員を新たに雇用する際、現在の非正規職員 ▼ 労働災害 0件	指定管理施設の現場と本部事務局との連絡調整を密にするとともに、関係機関への必要な届出を迅速かつ確実に行うなど、労働関係法令を遵守し、すべての関係手続きについて適切に対応できた。 当団体での労働災害発生ゼロを目指して、毎朝のKY活動、ヒヤリハット事例の共有、安全大会の開催、安全講習の実施等に取り組んだ。 事故が発生した際には、安全衛生委員会において、原因検証と再発防止の検討を実施し、安全な職場環境の実現と、スタッフの雇用環境の向上を進めるなかで、市民サービスの向上につなげることができた。	法令を順守し、適切に雇用環境が維持されていた。

(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)		A B C D
	▼ヒグマ出没情報があつた際は速やかに閉鎖措置およびHP等で告知を行った。また札幌市による痕跡調査に協力した。 ▼レストハウス委託団体スタッフと、レストハウスでの火災発生を想定した消防訓練を実施した。 ▼犬のノーリード、園内の自転車走行など、不正利用を発見次第、口頭で注意するとともに、看板を設置し利用者の安全確保に努めた。 ▼施設賠償責任保険は仕様に適合したものに加入した。 ▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等) 専門業者に委託し、保守点検・修繕・警備・管理業務を下記のとおり実施した。 ▼噴水保守点検 ▼受水槽清掃 ▼消防用設備点検 ▼遊具等保守点検 ▼レストハウス自動扉保守点検 ▼家用電気工作物保安全管理 ▼レストハウス管理運営 ▼駐車場管理(門扉開閉、誘導警備) ▼森の家機械警備 ▼園内トイレ漏水検査 ▼キュービクル警報装置バッテリー交換 ▼草刈は生育状況に応じて、園路際など一部回数を増やすなど柔軟に対応した。 ▼公園ボランティアにより公園施設(森の家)の清掃、園内のゴミ拾い、樹名板の作成および設置を行った。 ▽ 防災 ▼園内での火災発生や台風・地震などに備え、緊急事態対応手順書に基づく役割分担と手順等の確認を行うとともに緊急時連絡網・緊急時対応フローをスタッフ間で共有した。 ▼ヒグマ出没時の連絡体制を更新し、札幌市および当該公園スタッフで共有した。 ▼レストハウス厨房での出火を想定した消防訓練を実施した。	毎年1回以上、ヒグマ出没情報が寄せられており、適切な人員体制を確保したうえで、対応マニュアルに従って速やかに対応することができた。 公園施設・設備の保守点検等を確実に実施した。 公園ボランティア「旭山記念公園ボランティアの会」に協力していただき、公園内のゴミ拾いのほか、年2回、森の家の大掃除に協力していただき、園内および公園施設の美観維持にご協力いただいた。 ヒグマ出没時の聞き取り票の活用や緊急対応について、公園スタッフおよびレストハウス委託団体スタッフで改めて確認を行い、出没に備えた。	スタッフの訓練、不正利用者への対策を実施した。ヒグマ出没情報が寄せられた際も速やかに対応していた。 適切に維持管理されていた。利用者の安全確保だけでなく、公園ボランティアとも協力した作業により、園地の美観の向上にもつながった。 災害・緊急時の対応について、訓練やスタッフ間での対応内容の共有により、有事に備える体制が構築されていた。

(4)事業の計画・実施業務	▽ 自然環境に関する学習機会の提供業務		A B C D
	【実施イベント】 ▼野鳥観察会:24回開催(延べ334名参加) ▼早朝野鳥観察会:1回開催(13名参加) ▼平日野鳥観察会:2回開催(延べ17名参加) ▼初心者対象野鳥観察会:3回開催(延べ33名参加) ▼自然観察会:4回開催(延べ47名参加) ▼バードウォッチャーのための樹木観察会:2回開催(延べ30名参加) ▼スノーシュー自然観察会:7回開催(延べ115名参加) ▼旭山記念公園フォトコンテスト:15名参加 ▼ワンダーフォレスト:30名参加 ▼愛犬といっしょの公園散歩講座:11名参加 ▼旭山森のフェスティバル:80名参加 ▼薪割り体験会:2回開催(延べ16名参加) ▼クリスマスリース作成体験:5名参加 ▼冬のまちにスノーキャンドルの灯りをともそう:6名参加 ▼スマホ&キースタンド作り:2名参加 ▼ネイチャーカフェ「私選野鳥観察地案内」:17名参加 ▼旭山冬のフェスティバル:50名参加 ▼ノルディックウォーク体験講習会:3名参加 ▼園芸講習会「多肉寄せ植え講座」:10名参加 ▼園芸講習会「観葉植物ミックス寄せ植え」:11名参加 ▼園芸講習会「ナチュラルクリスマスガーラント作り」:10名参加 ▼旭山記念公園フォトコンテスト:15名参加 ▼観光・旅行者等の団体向け野鳥ガイド:45回延べ128名参加 【市民活動協議会スタッフの確保ができなかったため中止したイベント】 ▼星空観察会 【主催者への推進負担金の納入が参加に必須となったため中止したイベント】 ▼カルチャーナイト	多くの方に、自然環境に触れる機会を提供することが出来た。野鳥観察会については、年間を通して開催することで、当公園の豊かな自然環境に触れる機会の創出に努めた。また、新規に実施した「観光・旅行者等の団体向け野鳥ガイド」は全国から多数のお申込みをいただき、新規利用者の開拓につなげることができた。	市民活動団体との協働により、環境を活かした事業が様々なかたちで実施されている。イベントの実施回数は昨年より増加し、新たな講習会も展開しており、より多くの方の公園利用を促進していた。特に観光・旅行者向けのイベント開催は道外の方にも公園の魅力を伝えることができた機会となった。今後も近隣町内会や周辺小学校など地域との連携も進めながら自然環境に関する学習機会の提供に努めて欲しい。
	▽ 公園及び周辺環境に関する情報収集及び提供業務 ▼毎日の巡視業務と併せて、野鳥その他の自然情報を収集・記録し、公式ホームページでの情報提供や、自然情報のリーフレットを作成して配架した。 ▼公式ホームページで、野鳥等自然情報やイベント情報等を年間197件発信した結果、閲覧数は前年度比106%の490,756件となった。 ▼当該公園の野鳥や植物等の情報を掲載した月刊誌「アカゲラ通信」を毎月発行し、森の家・レストハウスで無料配布し、公式ホームページでも公開した。 ▼令和5年度から引き続き、ヒグマの近隣(藻岩山、円山西町など)への出没情報について、ホームページや掲示板等で情報発信した。	公式ホームページは昨年度に続き過去最高のアクセス数を更新しており、当該公園の情報を得る手段として広く活用していただくことが出来た。今後もサクラ開花や野鳥など、需要が高い情報をタイムリーに提供するとともに、ヒグマへの注意喚起や公園利用のマナー、イベント情報等の効果的な発信に努める。	旭山記念公園の環境を活かした自然情報の提供公式ホームページを活用して積極的に行っていた。今後も季節を感じられる動植物の情報等の発信を積極的に行ってほしい。
	▽ 環境教育に関する市民の自主活動及び交流の支援業務		

	【市民協議会及び登録団体が運営母体となっているイベント事業】 ▼ワンダーフォレスト:参加者30名 ▼旭山森のフェスティバル:参加者80名 ▼冬のフェスティバル:参加者50名 ▼星空観察会:中止 【近隣小学校および近隣町内会との連携事業】 ▼旭山ウォーカー(緑丘小学校4年生の総合学習授業):約150名 【公園ボランティア「旭山記念公園ボランティアの会」の活動】 ▼旭山自然調査隊主催行事「森のたんけん隊」運営サポート ▼木エクラフト体験「スマホ&キースタンド作り」:材料製作等 ▼クリスマスリース作成体験:素材収集等	緑丘小学校との連携事業「旭山ウォーカー」は、学校側から開催の要望をいただき、市民協議会、札幌市、公園ボランティア、近隣町内会の協働により開催することが出来た。 公園ボランティア「旭山記念公園ボランティアの会」は、各種イベントの準備等の活動のほか、旭山都市環境林での民間企業グループの活動を通じた交流会(ゴミ拾いと自然観察)をサポートしており、企業のCSR事業を支援することができた。	指定管理者と市民活動団体は、良好な関係を築くことができており、連携ができています。 民間企業グループとも活動を行い、公園での活動を通して多くの人々が交流をもてる機会が設けられた。今後も一層の調整が図れるように、札幌市としても積極的に調整を行っていく。
--	---	---	---

(5)施設利用に関する業務	▽ 利用件数等 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>R5年度実績</th><th>R6年度計画</th><th>R6年度実績</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森の家利用届(件)</td><td>28</td><td>-</td><td>17</td></tr> <tr> <td>公園利用届(件)</td><td>54</td><td>-</td><td>89</td></tr> <tr> <td>森の家利用者数(人)</td><td>6,374</td><td>-</td><td>6,771</td></tr> <tr> <td>レストハウス利用者数(人)</td><td>154,864</td><td>-</td><td>176,138</td></tr> </tbody> </table> ▽ 利用促進の取組 ▼ 週1回、公式ホームページで当該公園で見られる野鳥情報を更新し、森の家では電話や窓口で野鳥に関する問い合わせに対応した。 ▼ 生活情報誌「ふりっぱー」にイベント情報を掲載していただいた。 ▼ レストハウスで、運営委託団体と共催して、当該公園で撮影した野鳥写真のコンテストを開催した。 ▼ 市民協議会と「旭山森のフェスティバル」および「旭山冬のフェスティバル」に協力し開催した。		R5年度実績	R6年度計画	R6年度実績	森の家利用届(件)	28	-	17	公園利用届(件)	54	-	89	森の家利用者数(人)	6,374	-	6,771	レストハウス利用者数(人)	154,864	-	176,138	レストハウスは軽食や雑貨の販売が利用促進につながっており、休憩スペースやトイレ利用の来館者と併せて多くの方に利活用していただいた。 また旅行者向けの野鳥ガイドを実施し、道外から多くのお申込みをいただいたことから、公式ホームページ等による広報が効果的であることがうかがえた。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> レストハウスで提供するテイクアウトメニューや雑貨を工夫することにより、昨年度に引き続き、利用者数が確保されている。 ホームページ等による広報活動により、利用申込者が増加している傾向にあるので、引き続き広報にも力を入れてほしい。	A	B	C	D				
	R5年度実績	R6年度計画	R6年度実績																												
森の家利用届(件)	28	-	17																												
公園利用届(件)	54	-	89																												
森の家利用者数(人)	6,374	-	6,771																												
レストハウス利用者数(人)	154,864	-	176,138																												
A	B	C	D																												
(6)付随業務	▽ 広報業務 ▼ 公園施設でのイベント情報、開花情報、各種お知らせなど迅速かつ正確に利用者へ伝えることを目的として広報を行い、施設のPRに努めた。 ▼ インターネットを効果的に活用し、リアルタイムな情報発信に努めた。 ・公式ホームページ アクセス数は490,756件となり、前年度比約106%の閲覧数となった。 ・メールフォームの活用 公式ホームページ内のメールフォームからの問合せ(野鳥に関すること、落とし物など)に即時、対応した。 ▼ 公園ホームページについてのウェブアクセシビリティ研修を担当職員対象に実施した。 ▼ 広報誌の活用 各種イベントやレストハウス営業開始等の情報を生活情報誌「ふりっぱー」に掲載していただいた。 ▼ 札幌市動物愛護管理センターとの共催行事「愛犬といっしょの散歩講座」については、広報さっぽろに掲載していただいた。 ▼ テレビ等の取材・問い合わせ対応 テレビ、雑誌、ネット媒体からの取材・問い合わせに応じ、季節にみられる野鳥や花、サクラの開花情報、公園の基本情報等を提供した。 ▼ 公園ホームページのウェブアクセシビリティ取り組み確認・評価表を、令和7年3月25日に公開した。 ▽ 引継ぎ業務 前回から継続指定を受けており、引継ぎ業務はない。	札幌市街地の眺望観覧のほか、当該公園の特徴である豊かな自然環境とともに野鳥等の動植物の観察ができることが広く認知され、公式ホームページは多くの方に閲覧していただけた。また、ヒグマへの注意喚起や近隣出没情報なども発信しヒグマ対策等の啓発を継続して実施した。 また「ふりっぱー」や「広報さっぽろ」を活用してイベント情報を発信し、公園の利用促進に務めた。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 公式ホームページは、野鳥の動向やイベント開催の告知等、タイムリーな情報を提供し、利用者の目線に立った工夫が見られた。今後も身近な観光スポットとしてのPR活動を積極的に行い、公園利用がさらに進むよう努めて欲しい。 「ふりっぱー」「広報さっぽろ」等のイベント情報誌の活用も引き続き積極的に続けてほしい。	A	B	C	D																								
A	B	C	D																												

2 自主事業その他

▽ 自主事業		A	B	C	D
▼レストハウス売店事業 売上高12,689千円(前年度13,390千円) ▼森の家売店事業 収益事業売上高379千円(前年度267千円) 公益事業売上高533千円(前年度248千円) 合計売上高912千円(前年度515千円)		レストハウスは前年度から引き続き、高い水準で安定した売上となり、委託団体の品質の良いテイクアウトメニューや雑貨販売が好評だった。森の家もカプセルトイレによる缶バッジ等のオリジナル商品の販売や、野鳥ガイド等の新規イベント等により売上を増加させることができた。			
▼森の家でのオリジナル商品販売、新規イベントなど運営の工夫により前年より収益増となった。					
▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等		A	B	C	D
▼森の家機械警備 ▼レストハウス管理運営 ▼門扉開閉 ▼遊具等保守点検 ▼駐車場管理 ▼消防用設備点検 ▼受水槽清掃 ▼レストハウス自動扉保守点検 ▼噴水保守点検 ▼自家用電気工作物保安管理 ▼一般事業系廃棄物処理 ▼トイレ維持管理業務 ▼園内トイレ漏水検査 ▼キュービクル警報装置バッテリー交換		保守点検・調査、修繕業務については、市内の各専門業者を活用した。レストハウスの管理運営業務については、引き続き障がい者支援団体へ業務を委託することで福祉施策に取り組むことが出来た。また同団体からシマエナガグッズなどオリジナル商品を仕入れて販売することで社会福祉に貢献した。			
		適切に実施されていた。また、外部業者を積極的に活用し社会福祉に貢献していた。			

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果		A	B	C	D
実施方法	アンケートコーナーを森の家とレストハウスに設置、また利用者への質問用紙配布を行い、103件の回答を得た。	総合的な満足度および接遇に関する満足度ともに、要求水準を満たすことができた。今後も、豊かな自然環境と風致の良さを維持し、安全安心な利用環境を整えるように努めたい。 苦情に関しては、苦情主に対して真摯に接し、速やかにコンソーシアム間で共有して、スタッフ指導や改善作業を行った。 野鳥観察会等のイベントで多くの賛辞をいただいた。当公園の豊かな自然環境を紹介するイベン			
結果概要	・総合的な満足度は、札幌市の要求水準70%に対して95.6%と大幅に上回った。 ・接遇に関する満足度は、要求水準80%に対し96.7%とこちらも大幅に上回った。				
利用者からの意見・要望とその対応	〈意見・要望〉 ・生き物の保護活動をもっとたくさんの人に知ってもらえるように対策してほしい ・たばこの吸い殻が4月に来た時よりは減っていたが沢山落ちていて気分を害された ・メニューにライスがあれば良い(レストハウス利用者) ・もう少し雪の中を歩けると嬉しかった(スノーシュー自然観察会参加者) 〈苦情〉 ※電話、メール、対面での苦情 ・自転車に乗っていたところ、作業員に強く注意された。対応が不適切だ				

	・除雪により堆雪した雪山が通行の邪魔になっている、歩行者へ配慮してほしい 〈称賛〉 ・春の野鳥観察は初めてでしたが楽しかった(野鳥観察会参加者) ・観察ポイント、時期について教えてもらい参考になった。勉強になった(自然観察会参加者) ・一年間で見られる野鳥の展示写真と説明が素晴らしい ・子どものトイレを借りられてとても良かった ・シマエナガに会えました、ありがとうございます	トを継続して実施し、利用者にご満足いただける運営管理をすることができた。	
--	---	---	--

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	R6年度計画	R6年度決算	差(決算-計画)
収入	28,848	32,497	3,649
指定管理業務収入	27,357	28,316	959
指定管理費			0
利用料金			0
その他			0
自主事業収入	1,491	4,181	2,690
支出	28,542	33,204	4,662
指定管理業務支出	28,153	31,411	3,258
自主事業支出	389	1,793	1,404
収入-支出	306	▲ 707	▲ 1,013
利益還元	0	0	0
法人税等	306	271	▲ 35
純利益	0	▲ 978	▲ 978

自主事業収入は、定例で開催する野鳥等の観察会のほか、新規に野鳥ガイドを実施し多くの参加者が得られた。また引き続きカプセルトイを使用した缶バッジ等のオリジナル商品の販売も売上増につながり、計画より増額させることができた。指定管理業務支出は、市民対応・ヒグマ出没等の緊急時対応のため臨時職員を増やしたことにより、計画より支出が増加したが、自主事業収入の増額を図り、収支改善に努めた。

A B C D
自主事業収入はイベント、オリジナル商品販売、新規の野鳥ガイドのイベントにより計画を上回る売り上げとなった。光熱費や賃金上昇により支出が増加傾向にあるが、今後も自主事業収入の増額や経費削減の工夫を行い、収支改善に努めてほしい。

▽ 説明

- ▼ 指定管理費収入について、指定管理費収入について、「札幌市都市公園の維持管理に関する協定書の改定協定書」による225千円の増額、「札幌市都市公園の維持管理に関する協定における費用見直し等に関する確認書(電気料金等)」による734千円の増額があり、合計959千円の増となった。
- ▼ 自主事業収入は、イベント事業、売店、手数料収入とともに好調であり、計画より2,690千円の増となった。
- ▼ 指定管理業務支出は、市民対応の為臨時職員人工を増やしたため、計画より3,258千円の増となった。
- ▼ 自主事業支出は、公益事業繰入が増加したため、計画より1,404千円の増となった。
- ▼ 利益還元については、公益法人の特質上、協会全体として収益の約半分を公益事業に繰り入れている。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

- ▼札幌市公園緑化協会の財務状況等は、令和6年度、赤字決算となり、運営安定化積立資産も取り崩すこととなった。全体を見るとあきらかに指定管理費が不足しており自主事業のさらなる増収増益を行い経営能力の安定化を図って行かなければならない。他の指定管理、構成団体については、前年度から大きな変化はなく、安定経営能力に問題はない。

適 不適

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

- ▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。
- ▼情報公開請求はなかった。
- ▼当公園の管理等に係るオンブズマンの実地調査はなかった。
- ▼公園使用者に対する告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を園内に掲示した。
- ▼物品購入や業務の委託等に際して、暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないよう徹底した。

適 不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
ヒグマ出没に備えた準備と出没情報があった時の緊急対応のほか、利用者への注意喚起を継続的に実施し、安心安全な公園利用に務めることができた。シマエナガ等の全国的な野鳥人気にこたえるため、旅行者向けの野鳥ガイドを実施し多くの方に参加いただき、当公園の利用促進および豊かな自然環境の啓蒙につなげることができた。また市民協議会や近隣の小学校、町内会、公園ボランティアと協働し、環境教育、利用促進を図るイベントを年間通して実施することができた。	引き続きヒグマ対策と利用者への注意喚起・生態等の啓蒙を継続して実施する。安心安全な公園利用を確保しながら、来園者のニーズに沿った運営を行い、当該公園の魅力を発信する自主事業の推進を図り、利用促進とともに収益増加にも取り組んでいく。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
前年度よりも多くのイベント事業を開催することができ、利用者の増加につながっていた。アンケート結果からも来場者の満足度が高いことがうかがえ、良好な管理が行われていた。HPのほかイベント情報誌を利用したイベント開催情報を発信し、来場者の増加に努めていた。	・施設の不具合に関する要望については、速やかに対応するよう努めていただきたい。来場者が増加傾向にあるため、来場者の意見を参考に、施設の維持管理、より満足度の高いイベント企画を行っていただきたい。